

**福岡県移住者子弟留学生
第3回報告書（10～12月）**

ブラジル福岡県人会

山積 エドアード 成一

九州大学大学院 システム情報科学府

10月

皆様、こんにちは！ブラジルからの留学生、山積成一です。今月の学生生活について少しシェアしたいと思います。

10月の始めに茶道教室に参加しました。日本のお茶文化を学ぶのは初めてでしたが、座り方や歩き方はまだ慣れず、少し難しかったです。でも、茶道の哲学はとても興味深く、もっと練習したいと思いました。

次の週には大濠公園と大濠庭園を散歩しました。和風の庭園で、人工の池や川があり、美しい魚がいて、とてもリラックスできる場所でした。いつか自分の家にもこんな庭を作りたいな、と思いました。

その日の夜に、香椎灯明祭りを見に行きました。地元の小学生たちが描いたランタンが川沿いに飾られていて、素敵な雰囲気でした。他の留学生と一緒に見た後、近くの中華料理レストランで食事をしました。

次の日は博多の住吉神社で流鏝馬を見ました。馬に乗って矢を射るのはとても難しそうでしたが、見ていて楽しかったです！また、神社では海外文化のイベントも開催されていて、メキシコ料理を楽しみました。

そして、20日にはブラジル祭りがありました。ブラジル音楽やダンス、そして美味しいブラジル料理があり、懐かしい気持ちになりました。日本でブラジル文化に興味を持ってくれる人がいるのはとても嬉しいです！

さらに、家族会の丸尾さんのご招待で、留学生たちと一緒に糸島を観光しました。有名な観光地を訪れたり、海で遊んだり、とても楽しい時間を過ごしました。

家族会のイベッチさんと柳瀬さんもお参加くださり、最後に丸尾さんのご自宅で美味しいたこ焼きとうどんをご馳走になりました。とても楽しい一日でした。

また、大学ではヒューマンインターフェースの授業を聴講しています。人と製品のつながりについて学ぶもので、どうすれば使いやすいデザインになるのか、ユーザーが簡単に操作できるようにする方法を勉強しています。

次回もまた、新しい経験をシェアできればと思っていますので、お楽しみに！

11月

最近、寒さが増してきて、葉っぱの色も赤くなってきました。私のブラジルの地元では、秋に葉っぱの色があまり変わらないので、とても珍しく感じます！

11月の初めに九州大学の文化祭が行われました。私は国際交流サークルの屋台を手伝うために参加しましたが、その日はテントの準備中に強い雨風が吹いてきて、テントを解体せざるを得ませんでした。台風が過ぎた後、サークルのメンバーと一緒に建物内のアトラクションを見に行きました。雨の影響で多くの食べ物系の屋台が閉店していたため、結局コンビニでパンを買って帰りました。ブラジルには文化祭がないので、初めての経験でした。完全な状態の文化祭を経験することはできませんでしたが、学生たちが協力している姿に感動しました。

翌日はペルー料理を食べました。柔らかい牛肉と豆を使った料理で、ブラジル料理に似ていて懐かしい気持ちになりました。

4日には茶道体験の最後の練習がありました。初めの授業と比べて、茶道の手順を少しずつ覚えたと感じます。先生に心から感謝しています。

そして、8日に実際の茶道体験を行いました。朝、大濠公園に行き、初めて着物を着ました。着物での歩き方や座り方を練習した後、大濠庭園で茶道を体験しました。少し緊張しましたが、練習で学んだことを思い出しながら頑張りました！正座は少し大変でしたが、お世話になった方々にお茶を点てる機会をいただき、とても嬉しかったです。体験の後、大濠庭園でたくさん写真を撮りました。素晴らしい1日でした。

次の日は北九州家族会のメンバーにお誘いいただき、ほかの県費留学生たちと一緒に工場見学に行きました。朝早く出発し、家族会の皆さんと日本製鉄の工場を見学しました。初めて見る鉄工場はとても迫力があり、熱で赤くなった鉄が細長く加工されるプロセスは特に印象的でした。その後、高塔山展望台で景色を楽しんだり、写真を撮ったりしました。お昼にはおいしい天ざるそばとお好み焼きを食べ、北九州の起業祭にも行きました。

17日には福岡留学生会（FOSA）のイベントに参加しました。文化ショーでは、留学生が自分の国のダンスや音楽を披露しました。ハワイからの県費留学生・能丸紘右さんはアメリカやハワイの音楽を演奏してくれて、とても素晴らしかったです。友達の発表を楽しみながら、さまざまな国の文化に触れることができ、本当に良い経験でした。

最近は大学の日本語の授業も始まり、研究で英語の論文を書くことになりました。ますます忙しくなっていますが、頑張ります！

12月

今回は12月の活動報告をさせていただきます。

1日に家族会の皆様と一緒に久山市の首羅山に登りました！朝は寒かったですが、登り始めると体がどんどん温かくなり、とても良い運動になりました。登山の途中では首羅山の遺跡についての説明も聞くことができ、家族会の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

今月の始まりには、紅葉が見頃だったので、ディエゴと一緒に太宰府市の竈門神社へ行きました。真っ赤に染まった紅葉の木はとても美しく、写真を撮るのを楽しみました！

15日は家族会のメンバーにお誘いいただき、飯塚市で山登りとバーベキューを楽しみました。山道はよく整備されてきれいな山の道でした。その後のバーベキューでは美味しいお肉やおかずをたっぷりいただき、交流も深まりました。

22日は久留米市の草野校区で県費留学生や家族会の皆様と餅つきに参加しました。これまで機会に餅を作ったことはありましたが、餅つきは初めての経験でした。その場でつくたてのお餅をいただきながら、交流も楽しみました。その後、久留米市世界のつばき館という場所で椿油の作り方を見学し、近くの和風レストランで美味しい食事をしました。とても楽しい一日でした。

皆様に素敵なクリスマスと良いお正月を願っています！

来年もどうぞよろしくお願いいたします！

パラグアイ福岡県人会

北川 西岡 クリスティーナ 彩

九州大学大学院 薬学府

10月

皆さん、こんにちは！パラグアイ福岡県人会の北川彩です。

今月も楽しくていい思い出ができました。秋学期が始まり久しぶりに大学へ行き授業に参加するたび、新しいことを学んでいるので楽しいです。

茶道教室にも参加しました。正座は少しキツイですが、日本の文化を身近に感じることができ、いい経験ができて良かったと思います。パラグアイから来た従兄弟にも久しぶりに会えました。そして、ずっと行ってみたいと思っていた糸島のヤシの木ブランコへ県費のみんなと一緒に行った事も嬉しいです。丸尾さんファミリー、イベッチさん、柳瀬さんに変なお世話になりました。ありがとうございました。

これからも、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思っています。引き続きよろしく願いいたします。

11月

初めての茶道の体験をしました。いつもお世話になっている家族会に感謝の気持ちを込めてお茶を点てる事ができました。すべてが新鮮で少し緊張もしましたが、茶道を通じて心を落ち着かせることの大切さや、日本文化の奥深さを感じることができ、とても貴重な時間となりました。

北九州の家族会一緒に見学に行った鉄工場は、ただの観光地ではなく、産業の力強さや技術の進化を実感できる場でした。自分たちが日常的に使っている鉄製品がどのように作られているか、またその背後にある技術や歴史を知ることができました。

阿蘇山では、登山やハイキングを楽しむことができました。阿蘇山は世界でも有名な活火山で、その火口から湧き上がる煙や地熱の温かさに圧倒され、感動しました。

両筑の家族会のアクティビティの柿狩りに参加することができました。とても楽しく、秋の自然の恵みを実感できる貴重な体験でした。まず、柿の木に実ったオレンジ色の果実を見つけた瞬間、収穫する楽しさが湧き上がりました。柿はそのまま手で簡単に取れるので、初心者でも気軽に楽しめるのが魅力でした。

これからも、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

12月

12月初旬、福岡の太宰府にある竈門神社を訪れました。この神社は縁結びの神様として有名ですが、紅葉の名所としても知られています。境内は赤や黄に染まったモミジが鮮やかに色づき、まるで自然が織りなす絵画のようでした。

特に参道を覆うように広がる紅葉のトンネルは圧巻で、歩くたびに紅葉の絨毯が足元に広がるようでした。風が吹くたびに舞い落ちる葉に季節の移ろいを感じながら、心が洗われるようなひとときを過ごしました。

次に楽しんだのは、友人達とのクリスマスパーティーです。特に盛り上がったのは Secret Santa というプレゼント交換でした。プレゼント交換は、いつもドキドキします。誰が自分のサンタなのかを予想しながら、プレゼントを開ける瞬間は本当にワクワクしました。

そして、筑豊家族会に招待され、バーベキューと登山を楽しんだ一日は、地域の絆を深める素晴らしい時間となりました。バーベキューでは、お互いに協力しながら美味しい料理を作り、食事を共にすることで、自然と会話が弾みました。こうした活動は、日常生活では感じられない特別な体験を提供してくれました。今後もこうした地域のイベントに積極的に参加し、さらに多くの思い出を作りたいと思います。

12月下旬には、両筑地域の家族会に招待され、草野の餅つきに参加しました。杵と臼を使った本格的な餅つきで、初めて体験する人も多く、ワクワクした雰囲気に包まれていました。私も「ヨイシヨ！」という掛け声とともに杵を振り下ろしましたが、思った以上に力が必要で、すぐに腕が疲れてしまいました。それでも周りの励ましで最後まで頑張ることができ、地域の温かさを感じました。つきたてのお餅は驚くほど柔らかく、きな粉や大根おろしをつけて食べると絶品でした。参加者全員で丸めたお餅は正月用として配られ、伝統的な日本の行事の大切さを実感しました。

これからも、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

在ボリビア福岡県人会

藤田 大輝 ミゲル

九州産業大学 理工学部

情報科学科

10月

皆さん、こんにちは、在ボリビア福岡県人会の留学生藤田大輝です。

10月に入り、秋に向けて寒さが少しずつ増してきました。大学の授業は毎日が新しい事の学びの連続で楽しく授業に励んでいます。今月は、少し新しい事への挑戦が出来ました。大学に福岡県警察本部サイバー犯罪対策課が来て、サイバー犯罪捜査体験会とサイバー犯罪ボランティア意見交換会議に参加しました。凄く貴重で色々経験になりました。次に茶道体験では、来月に向けての茶道のマナーを知り、それを練習と体験で凄く貴重な体験をする事が出来、11月の本番に向けてきっちりと忘れないように予習をしています。

行ってみたかった糸島にも行くことができました。丸尾さんファミリー宅で、イベッチさん、柳瀬さんと一緒にタコ焼きやうどんをご馳走になり、ヤシの木ブランコ、桜井神社、小田浜海岸で楽しむことが出来ました。

これからも、日本の生活を楽しみながら思い出を作り、勉強に励んでいきたいと思います。

11月

日本は秋の時期になりました。葉っぱの色が変わり始め、紅葉が見え始めたと同時に寒さも増してきました。

茶道体験は、袴を着る事ができ、日本の伝統文化を深く感じる貴重な時間でした。茶道の作法を学ぶために、指導してくれる先生が一つ一つの動作を丁寧に教えてくださり、その静謐な空気の中で、お茶を点てる楽しさを感じました。

最初に驚いたのは、お茶を点てる際の細やかな手順です。茶道具（茶碗、茶筥、茶杓など）を使うたびに一つ一つの作法に意味が込められていることを実感しました。お茶を点てる姿勢や茶筥を使うタイミング、さらにお茶をお客様に差し出す時の所作に至るまで、すべてが自然でありながらも、深い意味を持っていることに感動しました。

体験を通じて、茶道はただのお茶を飲む儀式ではなく、心を含めたおもてなしの精神や、日常の喧騒から解放されるひとときの大切さを教えてくれるものだと感じました。茶道の深さを少しでも理解できたことは、大変有意義な経験でした。

次の日には、北九州家族会に九州製鉄所の見学に呼んでいただき、鉄工場を見学する事が出来、有名なそば屋で緑そばを食べました。凄くポリューミーで美味しかったです。

次の週は、両筑家族会の林田さんと一緒に阿蘇山を見に行くことができました。久留米から出発し九重夢大吊橋へ行き紅葉を見ながらの景色は、格別でした。林田さんの車で阿蘇市を通り目的地である阿蘇山へ着くことができました。広々とした景色はグッと胸に響きました。

11月も終わりに近づき、家族会から柿狩りに招待いただきました。秋の澄んだ空気の中、家族会の皆さんと一緒に柿畑へ出かけました。皆で畑を歩きながら、熟した柿を手に取り、カゴに入れていきました。

柿を摘む手は慎重で、熟れすぎず、ちょうど良い具合に甘さが増したものを選ぶ楽しさがありました。手のひらで感じる柿の冷たさや、枝を引っ張る時の力加減が、普段の生活では味わえない体験でした。途中で、柿の木の下に座って、おしゃべりしながら休憩を取ることもあり、家族会の皆さんとの絆を深めることができました。帰りには筑前町に藁で出来たゴジラを見に行きました。

日本に来て半年以上経ちました。残り僅かな時間を全力で楽しんでいきたいと思います。

12月

12月が訪れ、寒さが一層厳しくなり、冬の訪れを深く実感する季節となりました。街並みは華やかなクリスマスの装飾に彩られ、心も温かなぬくもりを求める時期へと移り変わっていきます。先日、かまど神社で紅葉を見に行きました。日本で見る紅葉は初めてで、ずっと憧れていた景色でした。実際にその美しさを目の当たりにした瞬間、まるで夢の中にいるような感覚に包まれ、心が満たされるひとときでした。至る所に広がる紅葉の中、冬の訪れを感じさせる赤や金色の美しい景色に囲まれ、心ゆくまでその瞬間を楽しむことができました。

寒さが一段と厳しくなる中、12月の中旬には県費留学生7人でプチクリスマスパーティーを開き、みなで食事を楽しみながらプレゼント交換をしました。温かなひとときを共に過ごし、心が温まる素晴らしい時間となりました。

また、筑豊地区の家族会から招待を受け、桂川町でバーベキューに参加しました。まずは弥山岳に登り、壮大な景色を堪能した後、キャンプ場でバーベキューを囲みながら、心温まるひとときを過ごし、互いに言葉を交わしました。寒さが一層身に染みる中で味わうバーベキューは、格別に美味しく感じました。

さらに、12月22日には久留米市草野町で餅つき体験を楽しみました。久しぶりの体験に懐かしさが蘇り、まるで子どもの頃に戻ったかのような、心躍る瞬間でした。出来立ての餅は格別に美味しく、思わずほっぺたが落ちるような美味しさでした。

残り少ないこの限られた時間を大切に、心から楽しむことを心掛けています。どうぞよろしく願いいたします。

在ボリビア福岡県人会 徳永 アルベルト 準一

九州産業大学 人間科学部
スポーツ健康科学科

10月

皆さん、こんにちは！ボリビア福岡県人会から来ました、徳永アルベルト準一です。

今月の初め、茶道の練習に参加できることが出来ました。練習では、長時間正座の体勢でいるのは窮屈でしたが、一つ一つの動作に意味があり、丁寧に手順を守りながら行わなければいけません。この経験を通して、日本の伝統文化に触れたことだけでなく、心が落ち着かせ、一瞬、『一期一会』を感じる事が出来ました。

大学の方では、日本語の勉強しており、少しですが徐々に漢字が読めるようになってきています。学校保健では、児童の健康と安全を確保し、安心できる環境作りについて学んでいます。メンタルトレーニングとコーチングの授業では、選手の実力発揮やメンタルヘルスのサポートのことを学んでいます。これから色々なことを学べるので楽しくしています。

家族会の丸尾さんに誘われ糸島のヤシの木ブランコを尋ねることが出来ました。綺麗なビーチが広がり、その中にヤシの木が数多くありました。ヤシの木が生える自然豊かなビーチの中に設置され、ブランコに乗りながら絶景を楽しむことができるため、写真映えスポットとしても人気があります。観光の後に丸尾さんの家に行きました。柳瀬さん、イベッチさん、丸尾さん達にたこ焼きやうどんをご馳走になりました。家族会の皆様、いつもお世話になっています。ありがとうございます。

残りわずかの研修を精一杯楽しみながら、良い思い出を作りたいと思います。皆さん、食欲の秋にはご注意ください。引き続きよろしくお願いします。

11月

茶道体験は、「心を整え、相手や自分に敬意を払う」という日本文化の根幹に触れる経験でした。茶道でのおもてなしの心や、袴を着ることで感じる凛とした気持ちは、日常生活でも応用できる大切な学びでした。この経験を通じて、日本文化の持つ奥深さと、その中に込められた思いやりの心を再確認しました。

鉄工場を訪問したことで、私たちが普段利用している建築資材や機械部品などがどのように作られているのか、その裏側を知る貴重な機会となりました。工場で働く人々の技術と努力が社会を支えていることを改めて実感し、感謝の気持ちが湧いてきました。

僕の祖父の故郷の熊本に訪れました。阿蘇山は、雄大な自然と豊かな文化を兼ね備えた素晴らしい観光地でした。その景観だけでなく、地域の歴史や文化、そして火山活動との共生の姿勢から多くの学びを得ることができました。

自分自身のルーツや家族の絆について深く考えるきっかけになりました。また機会があれば、もっとゆっくと滞在し、祖父の記憶をたどる旅をしたいと思います。

両筑の家族会と柿狩りに行きました。柿狩りを通じて、自然の恵みや農業の大切さを学ぶとともに、家族や友人と一緒に過ごす楽しい時間を満喫できました。また、自分で収穫した柿を食べることで、食べ物のありがたさを改めて感じました。このような体験を通じて、自然や食べ物に対する意識をより高めていきたいと思います。柿狩りは、収穫の楽しさだけでなく、心温まる思い出をつくる素晴らしい機会でした。

残りわずかの研修を精一杯楽しみながら、良い思い出を作りたいと思います。皆さん、引き続きよろしく申し上げます。

12月

今年最後の月がやって来ました。街中はクリスマスのイルミネーションで華やかに彩られ、冬ならではの行事やイベントが盛りだくさん。この時期の寒さは体を震わせることもありますが、その分、心を温めてくれる瞬間がたくさんありました。

12月初旬に、太宰府の近くにある竈門神社に観光に行きました。山の中腹に位置する神社に到着すると、赤や黄色に染まったモミジが境内を鮮やかに彩っていました。特に印象に残ったのは、神社のモダンな社務所と自然の調和。カフェスペースでは地元産の和菓子と温かい抹茶を楽しむことができ、冷えた体をほっこりと温めてくれました。訪れる人々も少なく静かな雰囲気、季節の移ろいを五感で感じられるひとときでした。

クリスマスパーティーで県費留学生の皆さんと一緒に特別なディナーを作り、シークレットサンタで盛り上がりました。普段は外食や既製品に頼りがちですが、今回は手作り料理に挑戦。みんなで力を合わせてキッチンに立つのは、とても楽しい経験でした。

ディナーのメインはクリームシチューと唐揚げでした。シチューは具材をたっぷり入れて、寒い冬にぴったりの温かい一品に仕上がりました。クリスマスソングを聴きながら、ディナーの後はシークレットサンタの時間！それぞれが誰に贈るのかを秘密にしていたので、プレゼントを渡すときはドキドキの連続でした。一緒に過ごす時間が、寒い冬を忘れるほど心温まる一日となりました。

筑豊家族会に招待され、登山とBBQに参加することができました。また、登山では、初心者でも楽しめるコースをみんなで歩き、頂上に到達した時には達成感とともに美しい景色を見る事が出来ました。自然の中でBBQ！みんなで協力し合って活動することの楽しさを改めて実感し、家族会の一員として参加できてよかったと思いました。このようなイベントは、今後も積極的に参加していきたいと感じました。

両筑家族会に招待され、草野で餅つき体験に参加しました。大きな臼と杵を持った餅つき体験は人生初！ポルビアでは、島津家みんな集まって、餅つきは機械でやっていました。この餅つき体験は、年末を迎えるにあたり、改めて日本の文化の魅力を感じられる素晴らしいひとときでした。

残りわずかの研修を精一杯楽しみながら、良い思い出を作りたいと思います。皆さん、引き続きよろしく申し上げます。

メキシコ福岡県人会 谷川 フロレス ヨアリ

福岡国際医療福祉大学 医療学部理学療法学科

10月

皆さんこんにちは、メキシコ福岡県人会の谷川ヨアリです。もう10月が終わります。

今月は幸福感に溢れ、学びと新しい体験に満ちた月でした。彼女と東京、京都、大阪など日本の新しい場所を知る機会がありました。そのおかげで、彼女に自分のルーツや日本の文化を少し見せることができましたし、日本が持つ多種多様な場所や文化について学び続けることができました。

多くの寺社仏閣を見て、日本の素晴らしい文化が見ることができる近代的な場所に行きました。

明治神宮、浅草寺、雷門、日光東照宮、輪王寺、栃木、四天王寺、清水寺、金閣寺、伏見稲荷大社、東大寺と鹿、道頓堀、渋谷クロス、ハチ公、京都タワー、東京タワー、大阪タワー、渋谷スカイツリーなどです。

これらすべての経験は、日本をより身近に感じ、日系人であることを誇りに思うきっかけとなりました。

この旅は、日本語をもっと練習し、上達し続けることにも役立ちました。

このようなことを知り、経験する機会を得たこと、そしてこれからも日本に滞在し、この経験を最大限に生かすことができることをとても嬉しく思います。

このような機会をいただき、本当にありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

11月

11月は、日本の文化や日本の理学療法について学び続け、福岡の人たちの優しさを満喫した、たくさんの経験に満ちたとても素敵な月でした。

今月は理学療法について多くのことを学びました。理学療法の技術や、電気療法、セッションで適用されるさまざまな電流について、実技の授業をいくつか受けました。とても楽しく、興味深いものでした。メキシコと比較して、日本では電気療法をどのように適用しているのか、どのように捉えているのかを比較することができました。また、常に学ぶべきことがたくさんあり、最新の情報を得るために理学療法に関する本を読み続ける必要があることにも気づきました。

11月8日はとても特別な日で、茶道に参加できたことにとっても感謝しています。練習をしたり、セレモニーをしたり、みんなと一緒にこのような素敵な瞬間を過ごせたことはとても興味深いことでした。もちろん、着物の着付けもとても良かったし、抹茶とお菓子の味もとても美味しかったです。

また、彼女と有名なビーチや食べ物、文化を見るために沖縄に行きました。渡嘉敷の旧海軍司令部壕に行き、ここで沖縄戦について学び、首里城にも行き、沖縄そば、ゴーヤー茶、海ぶどう、ブルーシールのアイスを食べました。一番驚いたことは、渡嘉敷でシュノーケリングをして、ウミガメ、カクレクマノミ、ウミヘビ、タコ、ヒトデなどを見たことです。最も美しい体験でした。

また、太宰府や南蔵院、小倉城などで紅葉も見ました。紅葉を見るのも素晴らしいことでした。

このような機会をいただき、本当にありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

12月

12月はとても静かな月で、日本語を勉強したり、運動したり、県費留学生と過ごしたりしました。ボリビア、ハワイ、ブラジルの県費留学生が、それぞれの国の料理を作ってくれたのですが、とてもおいしくて素敵でした。そんなことを彼らと分かち合えたことがとても嬉しかったです。

秋は日本で一番好きな季節のひとつで、木々の葉がさまざまな色に染まっているのを見るのはとても美しく、心が満たされました。

大学でも日本語の授業でも、すべてがうまくいっていて、たくさんのことを学び続けています。また、ここで学んだことを理学療法だけでなく、自分の人生でも分かち合いたいと思っています。

クリスマスと新年が近づいてきたので、県費留学生たちは食事とプレゼント交換をすることにしました。プレゼント交換では、各自が他の人に何かを贈るというじ引きをしましたが、プレゼントがとても素敵で、それぞれが相手の好きなものを贈ることに関心と努力を注いでいることが伝わってきて、とても好感が持てました。

残念ながら私はお腹を壊してしまい、家族会のピクニックには参加できなかったのですが、写真で見るとも楽しそうで、食べたものもどれもおいしかったです。

メキシコはそれほど寒くないので、今月はとても寒く、私にとってはとても変わった月でした。

12月22日には久留米市、草野町に行き、お餅つき体験をして家族会の方と過ごしました。餅つきの全工程をこんなに間近で見たのは初めてで、とても興味深く、楽しい体験でした。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

ペルー福岡県人会 玉那覇 松藤 ディエゴ

九州産業大学造形短期大学部 造形芸術学科写真系

10月

こんにちは。ペルー福岡県人会の玉那覇松藤ディエゴです。

10月はたくさんの活動や体験ができました。大学では白黒アナログフィルムの現像方法を学びましたが、これは私が好きになり始めた古い技術です。

沖縄へ旅行する機会がありましたが、そのビーチ、食べ物、伝統の素晴らしさに驚きました。そこから写真プロジェクトを進めることにも活用できました。

他の県費留学生と一緒に住吉神社へ流鏝馬神事を見に行き、その文化に驚かされるユニークな体験もしました。また、今月から大学の体育館にも通い始めました。とても近代的な設備があり、スタッフの方々はとてもフレンドリーです。

先週は丸尾さんご一家にご招待いただき、他の県費留学生と糸島市へ行き、小田浜海岸と桜井神社を訪れました。そして、丸尾さんご一家は私たちをとておいしいランチで歓迎してくれました。たこ焼きはとて美味しかったです。幸せと感謝の心で10月を締めくりたいと思います。

11月

この一ヶ月はあっという間に過ぎてしまいましたが、楽しい経験がたくさんありました。秋は寒い気候とより激しい雨によって感じられます。この気候は私の国とは大きく異なりますが、興味深いものです。11月の福岡は秋特有の紅葉で真っ赤に染まり、街全体を彩りました。写真を撮るのになんて素晴らしい時間でしょう！

月の始めに、天神にある元県費留学生のレストランで、ロースト肉、豆、オニオンソースをベースにしたペルー料理「Seco con frejoles」を食べました。本当に美味しかったです、ペルー料理が恋しくなりました。また、「トゥロン」も紹介しました。これは通常10月に食べられる、クッキー、蜂蜜、あめをベースにした古典的なペルーのデザートです。みなさんもぜひペルー料理を食べてみてください。

大学ではTシャツやエコバッグへの印刷方法を教えてもらい、とても気に入りました。いつもデザインのあるポロシャツを購入していましたが、その背後にあるプロセス全体は知りませんでした。みんなで写真をプリントしたところ、結果が気に入りました。

香椎浜に走りに行くことが多く、健康になった気がします。秋になり、風が冷たくて少し走りにくくなりましたが、その難しさは止まらない挑戦だと思います。

今月、茶道を習い、初めて着物を着ましたが、一生忘れられない素晴らしい経験でした。お茶を与えるという行為は敬意と友情のしるしであることを学びました。家族会や国際交流センターの方々にお茶をお出しできてとても嬉しかったです。お茶会の後、大濠公園の日本庭園で写真を撮りましたが、皆さんとても素敵な表情でした。

9日、私たちは北九州の家族会に会いました、私たちを九州製鉄所工場に連れて行っていただき、私の大好きな日本料理である天ざるそばを食べました。とても楽しくて北九州のことを知ることができ、その歴史と美しさに驚きました。

26日には、「Aji de gallina」を作りました。これは、細切り鶏肉、ジャガイモ、卵、黄色のチリクリームをベースにしたペルー料理です。初めて作りましたが美味しく出来ました。ペルーのソーダ、インカコーラと一緒に食べました。

20日はメキシコの県費留学生、ヨアリさんが豆、コーントルティーヤ、アボカドをベースにしたメキシコ料理「エンチラーダ」を作ってくれました。メキシコ人が作ったメキシコ料理はとても美味しかったです。

23日は家族会の皆さんと柿狩りに行きました。初めての果物狩りだったので、とても慎重に収穫しました。採集している間、新鮮なものを食べさせてくれました。日本の柿はとて甘くてジューシーです。このような経験ができたこととても感謝しています。それから、いくつかを寮に持って帰り、柿をたくさん食べました！

今月経験したことすべてにとて満足しています。これからも頑張ります！

12月

12月は新たな感情と経験が伴った月でした。寒さとクリスマスと新年の準備がすでに一層感じられます。今月は本当に好きです。ペルーでは12月は夏ですが、寒い中で過ごす初めてのクリスマスになります。

12月1日に久山ハトレッキングに行きました。自然と触れ合い、たくさんの写真を撮ることができた美しいルートでした。山登りはいつも楽しいです。

大学では、さまざまな種類の印象について学び続けています。今回はポロバッグとエコバッグのポリエステルへのプリントの方法を学びました。結果は気に入ったので、先生は私たちが撮った写真をプリントさせてくれました。携帯電話ホルダーも作りました。

県費留学生は、一足早いクリスマスのお祝いとプレゼント交換を行いました。一緒に料理をしたり、お互いにプレゼントを贈ったりして、とても楽しい時間を過ごしました。

また、ジャガイモ、コショウ、鶏肉をベースにしたペルー料理「Causa」も用意しました。多くの人はそれをポテトケーキと呼んでいます。「Chicha morada」という紫トウモロコシをベースにした飲み物も作りましたが、とても甘くて美味しかったです。

12月15日、家族会と一緒に、私がとても気に入ったキャンプデーを過ごしました。弥山岳山頂に登ってバーベキューをしました。食事はとても美味しかったです。その日は、無事に山に登り、美味しい料理を作ってくれた家族会のバイタリティとエネルギーに驚きました。

私は最後の日本語と写真の授業を受け、先生や友達に別れを告げました。今年は彼らから多くのことを学んだように感じており、彼ら全員にとて感謝しています。みんなとても辛抱強く、オープンに接してくれました。

また、今月はとても刺激的な月でした。私の双子の弟がペルーから私を訪ねてきました。彼と私の父と一緒にクリスマスと新年を祝うつもりです。私は日本の美しさと文化を双子の弟に見せたいと思っています。私たちは最近ディズニーに行きました。とても楽しかったです。彼にとって日本は素晴らしい思い出になると確信しています。

2025年に新たな経験を積む準備ができたことに心から感謝し、今年を締めくくります。

メリークリスマス、そして新年明けましておめでとうございます！

ハワイ島福岡県人会

能丸 紘右 ジューン

九州大学大学院 人間環境学府

10月

こんにちは、ハワイ島福岡県人会の能丸紘右です。

10月もあっという間に終わった気がします。再び福岡での生活に慣れたと思ったらコミュニティや大学の行事でいっぱいです。例えば11月の頭には九州大学で九大祭があり、日本の大学のお祭りみたいな物が見れると思います。コミュニティの方では、茶道の体験、地元のグループのイベント、神社のお祭りなどがありました。夏休みのおかげで勢いがついた気がして、勉強と福岡の体験をバランスよく楽しんでいきます。

その中でも一つ大きな出来事がありました。それは JICA の活動に感銘を受けた事です。元々知り合いの留学生が JICA を通じて福岡に来ている事は知っていましたが、他にもいろんな活動をしている事に気づきました。その中でも、JICA 海外協力隊に引き付けられるものを感じました。小さい頃から世界を回りながら人と繋がる仕事が夢で、その機会に今回巡りあった事に何かの縁を感じています。県費留学の後、JICA 海外協力隊でまた日本に来て、日本から出発し、アフリカやアジアで働くという夢が誕生した気がします。

県費留学を通して日本で色々な事を体験してきて、日系人として何をしていきたいのか少し分かってきた気がします。宿命みたいな物を感じて、それに正直に応える責任なのかもしれません。

11月

日本も秋になりだんだんと寒くなってきました、さすがの僕も半袖と半ズボンの生活には限界がきました。紅葉も徐々に始まり、山の中に行くと赤や黄色の模様があちこちで見られるようになりました。少し憂鬱な気分がちょうど今回の留学と重なった感じがしますが、これも日本ならではの味わいかもしれません。

今月は色々と考えさせられる事がありました。日本での人間関係、移民としての意味、そしてこれから自分が進む道の責任についてです。人はみんな自分一人で今存在しているのではなく、人間が存在し始めた時から生き残った人々の絆なのかもしれません。そんな人たちが今、再び世界中の仲間たちと会える時代に、自分がハワイ・アメリカで生まれた意味の深さに気づかされました。小鳥のように羽を広げ、揺りかごから飛び立つように自分も世界と向き合うのかもしれません。日本の大学の経験、同じ時を過ごした仲間たち、そして自分の存在についてもっと知ることができたことこれからの僕の人生において大きな展開となるでしょう。もう残り 1/3 ですが、残された時間を大切にしたいです。

12月

今月は早めにレポートを提出しますが、すでに色々な事が起きました。県費留学生は12月の2週目に早めのクリスマスパーティーをしました。定番のカレーではなく、珍しくシチューと初めて唐揚げを

作りました。お昼ご飯を食べた後、夜はプレゼント交換をして大いに盛り上がりました。また、今回初めて筑豊地区の家族会に招待されて、ハイキングとバーベキューもしました。寒い中薪を炊いて、新たな縁を築くことが出来てとても光栄に思っています。一番びっくりしたのが、余った材料を一人では持ち帰れないぐらいいっぱい貰って帰ったことです。日本では、行きより帰りのほうが持ち物が多くなることを覚えました。

大学のレポートも進んでいます。今月は寮の研究をまとめ始めていて、時間があればちよこちよこ進めています。同じゼミにいる4年生も卒論を書いているので、忙しい中みんな頑張って目標に向かっていていると思います。時には自分も何でこんなに忙しかったのだらうと思いますが、一年日本に住まわせてもらっているお礼を念じるとやる気がわきます。もしかしたら何かに向かっていている時が自分が一番生きていると思えるのかもしれませんが、一月の終わりには書き終わる予定なので、それまでは大学のレポートに専念します。

残り三ヶ月を切りましたが、これからが頑張りどころになりそうです。大学の先生、福岡県国際交流センター、家族会、そして日本で繋がった仲間たちに感謝します。引き続きよろしくお願いします。